

兵庫大学健康科学部履修規程

〔平成13年4月1日制定〕
兵大程第57号

(目的)

第1条 この規程は、兵庫大学学則（以下「学則」という。）に基づき、兵庫大学健康科学部（以下「本学部」という。）の授業科目、履修方法、試験、成績評価、卒業の資格等について必要な事項を定めることを目的とする。

(授業科目)

第2条 学則第19条別表第2、別表第3及び別表第4に掲げる授業科目を分けて、基礎・教養科目及び専門教育科目とする。

(必修科目、選択科目)

第3条 授業科目を卒業要件上、次のとおり分ける。

- (1) 必修科目……必ず履修しなければならない科目
- (2) 選択科目……指定された科目の中から、所定の科目数又は単位数により選択し、履修しなければならない科目

(履修登録)

第4条 学生は履修しようとする授業科目について学期初めの指定期日までに履修登録届を教務課に提出しなければならない。

2 学生が履修登録できる年間単位数及び一の学期に登録することのできる単位数は次のとおりとする。ただし、3年次への進級要件を充足しなかったため、原級留置となった者及び卒業延期者についてはその限りではない。

学科	単位数（年間）	学期の上限
栄養マネジメント学科	60単位	—（制限なし）
健康システム学科	52単位	30単位
看護学科	60単位	30単位

3 前項の履修登録単位数には、次の単位は含まない。

- (1) 教職に関する科目の単位
- (2) 栄養マネジメント学科及び看護学科における再履修科目の単位

4 履修登録を行わなかった授業科目については、単位認定の対象としない。

5 その他履修登録について必要なことは、別に定める。

(進級要件)

第5条 3年次に進級するためには、2年次終了までに次の各号のいずれかを充足していなければならない。

- (1) 49単位以上を修得し、かつ第14条に定める全履修科目の単位当たりの成績の平均値（以下「GPA」という。）の累積が2.0以上
 - (2) 68単位以上修得
- (「臨地実習」の履修要件)

第6条 栄養マネジメント学科については、次の科目（臨地実習科目）を履修登録するためには、履修登録時まで別表1に指定する要件を充足していなければならない。

第6条の2 看護学科については、臨地実習科目を履修登録するためには、履修登録時まで別表2に指定する要件を充足していなければならない。

(「卒業研究」の履修要件)

第7条 健康システム学科については「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」を履修登録するためには、3年次終了までに次の各号のいずれかを充足していなければならない。

(1) 86単位以上修得し、かつGPAの累積が2.0以上

(2) 100単位以上修得

(「卒業演習」の履修要件)

第7条の2 栄養マネジメント学科については、「卒業演習Ⅰ」「卒業演習Ⅱ」を履修登録するためには、履修登録時までに次の要件を充足していなければならない。

(1) 「卒業演習Ⅰ」……別表3に指定する科目のうち40単位以上修得

(2) 「卒業演習Ⅱ」……「卒業演習Ⅰ」の単位修得

(再履修)

第8条 学生は、不合格となった授業科目を修得するためにその科目を翌年度以降に再履修することができる。

2 試験の結果、可以上の評価を得た授業科目については、再履修することができない。

(試験の種類)

第9条 健康システム学科及び看護学科で行う試験は次のとおりとする。

(1) 定期試験

(2) 追試験

第9条の2 栄養マネジメント学科で行う試験は次のとおりとする。

(1) 定期試験

(2) 追試験

(3) 再試験

(試験の受験資格)

第10条 次の各号の一に該当する場合は、当該各号の授業科目について試験を受けることができない。

(1) 試験を受けようとする授業科目をその学期において履修登録していないときその授業科目

(2) 定められた期日までに授業料等の学納金等を完納していないとき全授業科目

(3) 授業欠席回数が授業実施回数の1/3以上のときその授業科目

(定期試験)

第11条 定期試験は、学期末にその履修した授業科目について筆答、論文、実技等の方法で行う。

2 前項の試験は、その授業のある学期中に随時行う考査等をもって代えることができる。

3 定期試験の判定は、100点満点とする。

4 その他定期試験について必要なことは、別に定める。

(追試験)

第12条 学生は、病気その他やむを得ない理由により定期試験を受験することができなかった場合、追試験を受験することができる。

2 追試験を希望する者は、あらかじめ試験開始日までにその旨を教務課へ届けなければならない。

3 学部長は、前項の者が追試験願を提出し妥当と認めたときは、追試験を行う。

4 追試験は、一回のみ行う。

5 追試験の判定は、定期試験に準ずる。

6 その他追試験について必要なことは別に定める。

(再試験)

第12条の2 栄養マネジメント学科2年次の学生は、2年次の各学期に履修登録した学科専門教育科目の中で、定期試験等の判定で不合格となった講義科目について再試験を受験することができる。ただし、受験できる科目数は、I期・II期とも、それぞれ2科目以内とする。

2 再試験を希望する者は、所定の受験料を添えて、所定の期日にその旨を教務課に届けなければならない。

3 学部長は、前項の者が再試験願を提出し妥当と認めたときは、再試験を行う。

4 再試験は、1科目につき1回のみ行う。再試験に対する追試験は行わない。

5 再試験の成績評価は、可又は不可の評価をもってする。

6 その他再試験について必要なことは、別に定める。

(不正行為)

第13条 受験中に不正行為を行った者に対しては、試験室からの退室及び教務課への出頭を命じ、当該科目の受験を無効とする。

(成績評価)

第14条 成績の判定は点数で、成績通知は秀、優、良、可、不可の評価をもってする。

2 成績評価は次の基準によるものとし、可以上をもって合格とする。

(1) 秀 90点～100点

(2) 優 80点～89点

(3) 良 70点～79点

(4) 可 60点～69点

(5) 不可 60点未満

3 前項の規定にかかわらず、栄養マネジメント学科の授業科目については、当該科目担当者が次の各号のいずれかに該当する者について当該科目の成績評価を「欠格」とすることができる。

(1) 出席不足の者

(2) 成績評価に必要なレポート等を未提出の者

(3) 成績評価に必要な試験を欠席した者

(4) その他成績評価に必要な要件が不足している者

4 その他成績評価について必要なことは、別に定める。

(GPA)

第15条 各学期毎に、GPAを表示し、以下の計算式によって算出する。

$$GPA = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得たグレードポイント})] \text{の総和}}{(\text{履修登録した単位数の総和})}$$

(小数点第3位以下切り捨て)

2 成績評価に対するグレードポイントは、次のとおりとする。

成績評価	グレードポイント
秀	4.0
優	3.0
良	2.0
可	1.0
不可	0.0

(単位の授与)

第 16 条 授業科目を履修し、試験に合格した者には、所定の単位を与える。

(卒業要件)

第 17 条 所定の期間在学し、別表 4 に定める授業科目群から、必修科目を含め 124 単位以上を修得した者について卒業を認定し、学士の学位を授与する。

(規程の改廃)

第 18 条 この規程を改廃しようとするときは、教務委員会に諮り、教授会の議を経なければならない。

(雑則)

第 19 条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に必要な事項は学部長が定める。

附 則

この規程は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、第 4 条の 2 については、平成 13 年度入学者から適用する。

附 則

この規程は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

2 第 4 条の第 2 及び第 3 に規定する栄養マネジメント学科の履修登録については、平成 23 年度以前の入学者にも適用する。

別表 1 (第 6 条関係)

臨地実習科目名	指 定 す る 科 目 名
給食管理臨地実習	「調理学実習Ⅰ」「給食経営管理論」
臨床栄養臨地実習	「臨床栄養学Ⅰ」「臨床栄養学Ⅱ」
公衆栄養臨地実習	「公衆栄養学Ⅰ」「公衆栄養学Ⅱ」

ただし、編入学生については「臨床栄養臨地実習」の履修要件は適用しない。

別表 2 (第 6 条の 2 関係)

臨地実習科目名	指 定 す る 科 目 名
基礎看護学実習Ⅱ	次の科目を修得済である者 「看護学概論」「看護理論」「ヘルスアセスメント」 「看護技術論Ⅰ（生活技術援助）」「基礎看護学実習Ⅰ」
成人看護学実習Ⅰ	次の科目を修得済である者 「基礎看護学実習Ⅱ」「成人看護学概論」 「成人看護援助論Ⅰ（生命危機状態にある人）」
成人看護学実習Ⅱ	次の科目を修得済である者 「基礎看護学実習Ⅱ」「成人看護学概論」 「成人看護援助論Ⅱ（常態の維持・増進が困難な人）」
老年看護学実習Ⅰ	次の科目を修得済である者 「基礎看護学実習Ⅱ」「老年看護学概論」「老年看護援助論」
老年看護学実習Ⅱ	次の科目を修得済である者 「基礎看護学実習Ⅱ」「老年看護学概論」「老年看護援助論」
母性看護学実習	次の科目を修得済である者 「基礎看護学実習Ⅱ」「母性看護学概論」「母性看護援助論」
小児看護学実習	次の科目を修得済である者 「基礎看護学実習Ⅱ」「小児看護学概論」「小児看護援助論」
精神看護学実習	次の科目を修得済である者 「基礎看護学実習Ⅱ」「精神看護学概論」「精神看護援助論」
在宅看護実習	次の科目を修得済である者 「基礎看護学実習Ⅱ」「在宅看護概論」「在宅看護援助論」
看護の統合と 実践実習	希望する実習領域に対応する臨地実習科目 （「成人看護学実習Ⅰ」「成人看護学実習Ⅱ」「老年看護学実習Ⅰ」 「老年看護学実習Ⅱ」「母性看護学実習」「小児看護学実習」 「精神看護学実習」のうちいずれか 1 科目）の実習単位修得見込み の者
公衆衛生看護学 実習Ⅰ	次の科目を修得済である者 「日本国憲法」「社会福祉論」「家族関係論」「精神保健」「環境保健学」 「保健医療福祉行政論」「公衆衛生学（疫学含）」「保健統計学」 「基礎看護学実習Ⅱ」「公衆衛生看護学概論」「健康教育論」 「学校保健概論」「疫学」「公衆衛生看護学活動展開論」 「健康相談活動の理論と実践」「産業保健論」
公衆衛生看護学 実習Ⅱ	次の科目を修得済である者 「公衆衛生看護学実習Ⅰ」

別表 3 (第 7 条の 2 関係)

科目名	指定する科目
卒業演習 I	「公衆衛生学 I (公衆衛生)」「公衆衛生学 II (健康管理)」「社会福祉概論」「生化学 I」「生化学 II」「栄養解剖学・人体生理学 I」「栄養解剖学・人体生理学 II」「臨床病態学 I」「臨床病態学 II」「生体防御論」「食品学 I」「食品学 II」「食品衛生学」「調理学」「基礎栄養学 I (健康栄養)」「基礎栄養学 II (基礎栄養)」「応用栄養学 I (ライフステージ 栄養)」「栄養管理学」「基礎栄養教育論」「健康栄養教育論」「臨床栄養学 I」「臨床栄養学 II」「臨床栄養管理学」「公衆栄養学 I」「公衆栄養学 II」「給食経営管理論」 (52 単位のうち 40 単位以上修得)
卒業演習 II	「卒業演習 I」

別表 4 (第 17 条関係)

栄養マネジメント学科

授業科目群	基礎・教養科目	26 単位以上	
	専門教育科目	I 群 (領域に関する科目)	14 単位以上
		II 群 (専門基礎に関する科目)	16 単位以上
		III 群 (専門に関する科目)	15 単位以上
		卒業研究	—
その他、上記の授業科目群のいずれかから 53 単位以上			
合計 124 単位以上			

健康システム学科

授業科目群	基礎・教養科目	26 単位以上	
	専門教育科目	専門基礎科目群	20 単位以上
		I 群 (運動・体育に関連する科目)	6 単位以上
		II 群 (養護・保健に関連する科目)	6 単位以上
		卒業研究	6 単位
その他、上記の授業科目群のいずれかから 60 単位以上			
合計 124 単位以上			

看護学科

授業科目群	基礎・教養科目	26 単位以上	
	専門教育科目	専門基礎科目	24 単位以上
		専門実践科目	65 単位以上
		統合科目	9 単位以上
		関連科目	—
その他、上記の授業科目群のいずれかから 60 単位以上			
合計 124 単位以上			